

平成21年度第6回（第13回） 高洲・高浜地区学校適正配置地元代表協議会
「高浜地区分科会」議事要旨

1 日 時 平成21年11月30日（月） 午前10時～12時

2 場 所 高洲コミュニティセンター 講習室1

3 出席者

- (1) 委 員 11人
*欠席委員：伊藤委員、大西委員、篠塚正則委員
- (2) 事務局 加茂主査、伊藤主査補
- (3) 傍聴者 6人

4 議題

- (1) 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合時期について
- (2) 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合場所について
- (3) 次回開催日時・場所について

5 会議資料

- (1) 高浜第二小学校・高浜第三小学校統合場所検討資料
- (2) 【参考】高浜第二小学校・高浜第三小学校統合シミュレーション

6 協議の概要

(1) 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合時期について

協議により、平成24年4月に新設統合校として開校することとした。

(2) 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合場所について

統合小学校の場所については、両校の敷地・グラウンドの面積、校舎の形状等を勘案すると高浜第三小学校が望ましいという意見が多かったが、実際に校舎の状況等を見学した上で決定することとした。

(3) 次回開催日時・場所

平成22年1月18日（月）に開催することとした。日程・場所については、調整の上、委員に連絡することとした。

7 協議要旨

(1) 会長挨拶

明日から師走というご多用な中、お集まりいただき感謝したい。前回、高浜第二小学校と高浜第三小学校の統合が合意された。本日は統合の時期と統合校の場所について協議していただくので、よろしくお願ひしたい。

(2) 協議

<池田議長>

初めに事務局に資料の説明をお願いします。

<事務局>

その前に、去る11月25日(水)に高洲第一小学校において、「第1回高洲第一小学校・高洲第二小学校統合準備会」が開催されたのでお知らせしたい。当日は、今後協議すべき内容の確認等が行われた。なお、統合準備会会長は高洲第一小学校の庄司校長に、副会長には高洲第一中学校区青少年育成委員会の大久保会長と高洲第二小学校の小川校長に就任していただいた。協議された内容は、12月中に「統合準備会だより」として高洲第一小学校と高洲第二小学校の保護者に配布するとともに、ホームページにも公開する予定である。

「高浜第二小学校と高浜第三小学校統合シミュレーション」は、これまで提示してきた統合に伴う児童数・学級数の推移に教員配置のシミュレーションを加えた。統合校に特別支援学級を設置することになれば、この資料に示した教員数に加えて、特別支援学級担当教員と専科教員を配置できる。

次に、前回の協議会で質問のあった高浜6丁目の子どもたちの通学校の扱いについてお話ししたい。高浜6丁目については、自治会より「高浜第二小と高浜第三小との統合の際には、磯辺第三小・磯辺第二中に学区変更したい」という要望が出ている。その際に「学区を変更しても、高浜地区の統合小学校への通学、さらには高浜中学校への進学も認めてもらえるのか。」という質問であった。学区調整を行う際の基本は「在校生については、引き続きこれまでの学区の学校への通学を認めていく」というものであり、これは子どもたちの負担をできる限り軽減するという考え方に基づいている。したがって、学区を変更しても在校生は高浜地区の統合小学校、さらには高浜中学校への進学も認められる。

<池田議長>

この資料について、何か質問はあるか。

<松岡委員>

統合時に学区変更する高浜6丁目の子どもたちは、在校生については高浜の統合校や高浜中も選択できるということだが、その際には希望する旨を教育委員会に伝えるのか。また、統合時の新1年生は基本的には磯辺第三小・磯辺第二中となるということでしょうか。

<事務局>

事務手続き上のことは、所管する学事課と相談しておきたい。統合時の新1年生以降については、基本的には磯辺第三小・磯辺第二中に通学することになる。

<多田委員>

高浜6丁目の学区変更はいつ行うのか、またその際、通学する学校や対応等については、整理して文書化してほしい。

<事務局>

先ほど説明した対応は特例ではなく、学区調整を行う際の原則であり、千葉市のどこでも当てはまるものである。なお、学区の変更は自治会の要望に基づいて進めている。したがって、統合の要望書に盛り込むようにしていただきたい。また、学区変更の時期は統合校が開校する年度となる。いずれにしても、統合の時期や場所が決定しないと具体化できない。

議題 1 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合時期について

<池田議長>

それでは、議題 1 の高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合時期について協議したい。
先ず、事務局より統合時期を検討するにあたり考慮すべき事項を説明してほしい。

<事務局>

まず考慮すべき事項として、次の 2 つがあげられる。

- ① 統合新設校開校のための準備期間を十分にとること
- ② 高浜第三小は、平成 23 年度に創立 30 周年行事を予定していること

ちなみに、高洲第一小と高洲第二小の統合については、約 1 年半の準備期間をとり平成 23 年 4 月とした。

<多田委員>

前回は質問したが、教員配置への要望、つまり統合に伴う教員加配は常勤の教員を配置してほしいといった県への働きかけは、いつごろ行うのか。また、統合後も、現在の担任の先生たちを当分そのまま配置してほしいという要望もあるがいかがか。

<事務局>

県への働きかけは、統合が正式に決定した後になるだろう。ただ、高浜第二小と高浜第三小の統合校の教員数は、統合前のそれぞれの学校の教員数の合計と比べると、ほぼ同じか、特別支援学級が設置できれば多くなる可能性もある。(校長・教頭・養護教諭は除く。)そこにさらに、県の統合増置教員又はそれを補う形で市の非常勤教員の加配がある。現在の担任等の継続配置についても、実施方針に基づき適切に対応するので心配はないだろう。

<池田議長>

それでは、統合時期について、皆さんの考えを聞きたい。

<西野委員>

協議して、皆が納得できる時期がよいだろう。

<松岡委員>

早く統合してほしいという要望がある。それを踏まえると、高洲地域と同様平成 23 年 4 月でもよいが、準備期間等を考えると、もう少し先にするという考えもある。

<本間委員>

高洲地域の様子を踏まえて、統合するのがよいと思うが、保護者の中には、早く統合してほしいという声もある。

<行木委員>

高洲地域の後がよいと思う。

<大和委員>

情報を得ながら進めることは必要だろうが、他地域と比べるのではなく、高浜は高浜の状況で判断すればよいと思う。早い方がよいのかどうかは判断しかねる。

<杉山委員>

保護者会同士の話し合いも必要であり、ある程度時間をかけて統合した方がよい。高浜第二小と高浜第三小とでは、近いとはいえ異なる部分もあると思うので、十分に検討し、すり合わせながら進めればよいだろう。

<多田委員>

今月23日に高浜3丁目自治会で意見交換会を行った。その中では、「磯辺地区の学校を選択できることはよい。」という意見や、高浜地区に多い外国人の問題について、「この問題については、教育委員会や市だけで対応できるものではないが、教育に関しては教育委員会で考えていく必要がある。もっと配慮がほしい。」「外国人が多いことにより、国際理解が図れるというメリットもある。それを生かす方向で考えていきたい。」といった意見があった。統合するにあたっては、子どもたちの精神的な負担もあると思われるので、実際の統合の状況を見ながら進めたいと思う。急いで統合する必要はないが、早く統合してほしいという保護者の要望も考慮すべきであろう。跡地の問題はどこで協議するのか教えてほしい。

<事務局>

跡地の問題については、自治会等を通じて地元要望を吸い上げ、地元代表協議会の中で「跡施設利用の要望書」としてまとめていくことになる。現在、高洲地域については、関係自治会長に地元の要望を吸い上げていただいております、今後この協議会に諮っていくことになろう。なお、統合が決定した後に設置する統合準備会は、統合による新設校開校のための諸課題を協議する場であり、校長先生をはじめとした現場の教員が検討すべき課題、つまり新設校の教育内容が主たる協議事項である。

<多田委員>

そうすると、統合準備会と地元代表協議会とが並行して進行するということでよいか。

<事務局>

そのとおりである。

<猪野委員>

高浜6丁目には、就学児童が20人くらいしかいない。在校生は、磯辺第三小学校と高浜の統合小学校、さらには磯辺第二中学校と高浜中学校、どちらも選べるとなると、しばらくの間、20人くらいしかいない子どもたちが別々の学校に通学する状況が生まれる。自治会としては、少ない子どもたちが分断されない方がよいと思うので、統合した際に、同じ学校に通学してもらえるとありがたい。保護者に集まってもらい協議することも必要かもしれない。

<事務局>

教育委員会としては、子どもたちの負担軽減の視点から学区調整を進めていくという基本的な考え方を変えることはない。保護者の中には、現在の友人関係もあるので、統合して磯辺第三小の学区になっても、そのまま高浜の統合小学校に通学させたいと考える方もいるだろう。

<松岡委員>

先ほど、「高洲の様子を見て」という意見があった。私も最初はそう思っていたが、自分の子ども・自分の地域のことなのだから、自分たちのスタンスで統合を考えるべきではないかと思う。もちろん、統合に至るプロセスをなぞることも大切だが、高浜地区の子どもたちのためにどうしたらよいかということを考えていきたい。

<池田議長>

事務局としては、統合の時期についてどのように考えるか。

<事務局>

今後の要望書の提出、統合の決定等の予定を考えると、仮に平成23年4月に統合校が開校するとなると準備期間はちょうど1年間となる。なお、来年度の予算要望は終わっているため、校舎の改修については高洲第一小と高洲第二小の改修と同じスケジュールにはのせられない。仮校舎で2年間過ごす可能性がある。

<松岡委員>

校舎等の改修についてはわかった。教育課程のすり合わせ等のソフト面は間に合うのか。

<事務局>

花島小は、統合が決まってから半年で統合したので可能だとは思いますが、準備が慌ただしくなるだろう。

<松岡委員>

平成23年4月に統合となると、来年度の学校行事、例えば運動会等は、高浜第二小として最後の運動会となる。できなくはないけれど、計画が難しいように思う。

<大和委員>

運動会等の学校行事は、どの年に統合しても「最後の〇〇」となる。高浜第三小の30周年行事を終わらせてから統合するのがよいのではないか。

<池田議長>

皆さんの意見を踏まえると、平成24年4月に新設統合校を開校することはいかがか。

<松岡委員>

この場で決定するのか。

<事務局>

本協議会は、学校に関わる様々な団体の代表者の皆様で協議を進めてきた。協議会としての意思決定がないと先に進まないのではないか。

<多田委員>

協議会の意見としてひとまずまとめ、保護者には情報をおろした方がよいだろう。

<池田議長>

本協議会としては、「高浜第二小学校と高浜第三小学校の統合による新設統合校の開校は、平成24年4月とする。」こととしたい。

<一同、了承>

議題2 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合場所について

<池田議長>

続いて、統合場所について協議したい。資料の説明を事務局に願います。

<事務局>

※「高浜第二小学校・高浜第三小学校統合場所検討資料」をもとに、校地や施設の状況、通学距離の変化、子どもルームや防災施設としての状況を説明。

<池田議長>

ただ今の説明について、質問はあるか。

<多田委員>

両校とも、学校敷地は千葉市のものか。

<事務局>

そうである。

<多田委員>

両校は、校舎の配置が異なっている。教職員や子どもたちにとり、使い勝手はどうか。

<事務局>

子どもたちは、自分の学校でしか過ごしたことがないので使い勝手はわからないだろう。他の協議会では、「いわゆる一本型の校舎の方が見通しはきくし管理しやすい」という話が委員よりあった。教職員からは、複雑な校舎は、安全管理の面で、死角ができやすいことや出入口が多くなり外部からの侵入者を把握しづらいといった意見を聞いている。また、これは校舎の形状とは異なるが、職員室から校庭が見えなかったり職員室が2階だったりすると、安全管理上不安があるという意見もある。

<池田議長>

統合校をどこにするのか各委員からの発言を求めたい。

<多田委員>

23日に行った自治会の話し合いでは、当然ながら高浜第二小を使ってほしいという意見であった。学校がすぐ隣にあるという理由で南団地を購入したという方も多い。また、二小は四方を道路で囲まれており、見通しがよいため安全確保しやすいという利点もある。高浜3丁目の住民としては、高浜第二小を残したい。

<猪野委員>

高浜6丁目は、磯辺第三小への学区変更があるので、何とも言えない。

<杉山委員>

自分の子どもたちも高浜第二小でお世話になり、愛着もある。しかし、校舎のつくりからすると、高浜第三小を統合校とした方がよいのではないか。

<大和委員>

地域に住んでいる方の心情を考えると、複雑である。先ほどの安全面・管理運営面等、客観的に見ると、高浜第三小の方がよいと思う。

<行木委員>

まず敷地やグラウンドの広さを考慮したい。また、最近是不審者等が多いので、地域と学校とで子どもたちの様子を見られるところがよいだろう。高浜第三小を統合校とするのがよいと思う。

<本間委員>

以前の見学会で高浜第二小は見学した。その時には、高浜第三小は参観対象ではなかったもので、ぜひ皆さんに見てもらいたい。グラウンドは水はけがよく設備等も充実していることを考えると、高浜第三小を統合校としたい。

<松岡委員>

校舎の形状やグラウンドの水はけ等、客観的にみれば高浜第三小の方がよいとは思ふ。しかし、心情的に言えば、なぜ高浜第二小ばかり不利益を被るのかという思いはぬぐえない。中高浜公園は不審者が出るという情報や信号のない道路を渡るということもあるので、もし高浜第三小を統合校とするならば、それらの整備をしっかりと行ってほしい。

<西野委員>

校舎の形状等を考えると、高浜第三小の方がよいと思う。

<多田委員>

この地区には、教育委員会への不信感がある。何か配慮がないと、心情的な不信感はぬぐえないだろう。跡地利用についても要求したいことがあるので、いずれ協議会で提示したい。

<大和委員>

統合校の位置については、今一度両校を見学した上で決めた方がよいだろう。なお、跡地利用の協議については、地元代表協議会の委員を変え、人数も増やして協議した方がよいと思う。

<本間委員>

今年度行った高浜中学校の授業参観も好評であり、高浜中の状況についても理解してもらえたと思う。やはり、実際に見ること、互いに見合うことが必要ではないか。高浜第三小でも、高浜第二小の保護者にも来てもらえるよう、フリー参観日を検討してもらっている。

<事務局>

統合小学校の開校は平成24年4月ということだが、統合場所については、先ほどの提案どおり、見学会等を行ってから協議会としての意思決定をしてはどうか。

<多田委員>

本協議会の決定を地域におろして議論しないと決められないだろう。私は高浜第三小の施設状況をみていないので、資料だけでなく実際に見て判断したい。

<篠塚会長>

統合時期については平成24年4月、統合校の場所は、本日の皆さんの意見を聞いた限りでは高浜第三小という意見は多いが、継続審議としたい。

議題3 次回開催日時・場所について

<池田議長>

今回は、統合の場所について協議していきたい。次回の高浜地区分科会は、年明けの1月18日（月）としたいが、いかがか。

<大和委員>

その日に見学会も同時に行ってはどうか。両校の施設見学会を行ってから協議会を開催すればよい。

（異議なし。）

<事務局>

その方向で検討したい。両小学校の都合もあるので、当日の日程については調整して連絡したい。

<池田議長>

それでは、今回は、高浜地区分科会を1月18日（月）に開催する。時刻・会場は調整してご連絡するので、ご出席をよろしくお願ひしたい。なお、開催日については各組織の方にもお知らせいただきたい。また、この会は傍聴が可能なので、よろしくお願ひする。他になければこれで議事を終了したい。

(3) 連絡

- ・ 次回の日程については見学会と併せて検討し、お知らせする。学校との打ち合わせにより変更する場合もあることをご了承いただきたい。
- ・ 今回の協議内容、決定事項等の保護者に対するお知らせは、共通のものを事務局で作成したい。案を作り保護者代表の方にご確認いただいた上で配布するので、よろしくお願ひしたい。
- ・ 欠席の場合には事務局へ事前に連絡をいただきたい。代理を立てることも可能なので、その際はそれも併せて連絡してもらいたい。

(4) 閉会

<篠塚会長>

真摯な協議ありがとうございました。統合の時期は平成24年4月、統合小学校の場所は継続審議となった。引き続きよろしくお願ひしたい。